

小海町 公民館報



町花・サラサドウダンツツジ



もくじ

町長年頭所感……………	2ページ
公民館長新春あいさつ……………	3ページ
羅針盤……………	3ページ
新年特集・年男、年女……………	4～5ページ
みんなの楽集館……………	6ページ
人権を考える町民の集い開催……………	7ページ
南佐久郡総合文化展開催……………	8ページ
壮年ソフトボール全国大会出場……………	8ページ
教育委員会だより……………	9～11ページ
町の広報……………	12～25ページ
やすらぎ園だより……………	26～27ページ
美術館ニュース……………	28ページ
小海の植物 染めごよみ……………	28ページ
フォトニュース……………	28ページ

平成30年12月1日現在

() 内の数字は前回対比です

世帯数	1,959戸(-47)
人口	男性 2,260人(-49) 女性 2,390人(-4) 合計 4,650人(-53)

発行日	平成31年1月1日
発行者	小海町公民館
編集者	小海町公民館報編集部 長野県南佐久郡小海町豊里285番地 TEL 0267-92-4391

印刷所	臼田活版株式会社
-----	----------

第
508
号

謹賀新年

小海町長 黒澤 弘

新年あけましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年三月二十六日付けで小海町長としての重責を担わせていただき、瞬く間に九ヶ月余りが過ぎました。この間、町民の皆様には町政対しまして、深いご理解と心強いご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、六月二十八日から七月八日までの長雨の中、台風七号および梅雨前線の豪雨の影響により西日本を中心に犠牲者が二百人を超える、平成に入って最悪の災害が発生してしまいました。また九月六日未明に発生した最大震度七の北海道胆振東部地震では四十一名の犠牲者が出てしまいました。全国各地で多発する異常気象や台風、地震等の自然災害により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますと共に、犠牲となられた皆様方のご冥福をお祈り申し上げます。そんな中、小海町においては、人的被害こそ無かったものの、台風二十四号による風倒木の影響で数箇所の道路が通行止めとなり、また八ヶ岳方面での総雨量が一五四ミリとなった豪雨により土

と、十月には農産物加工直売所を町としてははじめて民間の指定管理者制度を導入しました。両施設とも運営は順調に推移しており今後更なる繁盛を期待するところです。

私の選挙公約は、「積極的に挑む小海町」「元気な町づくり」ということで三つのキーワード「挑戦」「新鮮」「実行」を提案させていただきました。まず挑戦ですが、私も一昨年度まで会社の経営をし、様々な経験をきた中で、常に挑戦し続けることの大切さを学ばせていただきました。そして今般小海町でも「小海町チャレンジ支援事業」の創設をし、町民参加型町政の実現を図り、町の活性化のため自主的、発想豊かで、かつ発展性ある取組に要する経費に対して支援してまいります。挑戦できる町」「挑戦する人を応援する町」「絶えず挑戦し続ける町」を目指します。次に「新鮮」ですが、何事も新鮮である事が大切であると考え、町民目線の行政を推進しています。まず、その一歩として「町づくり推進会議」を開催し、三回の会議の中で町民の皆様の新鮮な意見を拝聴させていただきました。具体的な施策については今後順次お示ししてまいります。三つめは「実行」です。何も実行が伴わなければ何の進歩もなく、何ひとつ実現しません。私が先ず取組み実行に移したことが、職員の徹底した意識改革と人材

育成です。朝礼のラジオ体操、そして全職員との一対一の個別面談、更に昨年の九月二十一日～十二月までの四回にわたる全職員参加による職員研修、また他町村との職員交流等々を行ない、職員が自分の町を客観的に見ることができ、現在の小海町の善し悪しを見極め、悪しきところは改め、良いところはのびのびと行きて、特色のある町にしていくことを実行してまいります。昨年四月二十八日に中部横断自動車道が佐久南インターから八千穂高原インターまで開通し、佐久市はもとより、上田市、長野市方面へのアクセスが素晴らしく改善されました。長期にわたる中央への要望と、地元の大きな協力が実を結んだ結果、目的地までの運転時間の短縮はもとより、安全で快適な交通が確保でき、本当に素晴らしい道路となりました。町としましては八千穂高原インターから長坂ジャンクションまでの三十四キロの残された未着工区間についての早期着工を期待します。また、予定工事ルート帯が三キロから一キロに絞られ、小海町のインターチェンジの位置も大まかではありますが示され、過日役場において行われた国・県の説明会では一五〇名を超える大勢の町民の皆様に参加いただき、また活発な意見も出され、有意義な説明会となりました。今後とも早期着工、早期開通を目指し、ひきつづき活動を推進してまい

りますので、町民の皆様の強いご協力をお願いいたします。また、八千穂高原インターより一四一号に向かう車の約八十%以上が小海方面への車であり、一四一号の小海町区間の交通量は増大しており、町にとっても、大きなビジネスチャンスではないかと考え、一四一号沿いに道の駅を兼ねた小海発東京、又は東京発小海の高速バスの発着所の新設を目指します。

町長就任以来、初となりました町内十一地区の懇談を開かせていただき、全地区の皆様と直接の対話による意見、要望を頂きました。今後の町政の運営に大いに参考となり役立てたいと思います。

今年、新井前町長に礎を築いていただいた健全財政と地方創生総合戦略、そして第五次長期振興計画の最終年で引き継いだ計画の総決算ともなる年でもあります。充実した素晴らしい結果となりますようしっかりと取り組む事はもとより、第六次長期振興計画の作成に積極果敢に臨んでまいります。もう一つ「想うまちこうみ」事業も仕上げの段階によりやくなりしました。この事業は、主に県外企業の社員の健康管理をを経営の視点で取り入れていただき、町の自然文化、食事等を提供することで、業務の効率化、生産向上、そして社員の

定着化による離職率の改善、医療費の削減、労働力の確保につながります。すでに数件の申し込みがあり観光を含めた大きなPRとなります。

また新年度から、「涉外戦略係」の設置を考えており、商業の活性化、特に小海駅前を中心とした商店の再構築を軸に企業の保養所、研修施設の誘致、新規就業者や移住定住の促進、特産品の開発販売、観光の充実を図り、売込他全般を強く元気に進めてまいります。

教育に関しては、小中学校へのエアコンの設置の他、町内在住者の奨学金の返済に対し補助金を交付するとともに、大学等への進学時における家庭の経済負担を軽減するための「小海町大学等進学支援金」の交付も考えています。

結びに新しい年がすべての町民の皆様にとって、健康で幸多い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



黒澤 弘 小海町長

新春あいさつ

多くの人の手で

小海町公民館長 井出和利



新年明けましておめでとうございませう。

町民の皆様には日頃より公民館事業、活動にご参加ご協力いただきましてありがとうございます。

その公民館事業ですが、昨夏行われた分館対抗ソフトボール大会、秋に行なわれた分館対抗バレーボール大会はそれぞれ第四十六回を迎えました。途中ソフトボール大会は天候事情で中止の回も含まれていますが、どちらも半世紀近い年数を重ね、世代を継いで行われてきたことに深い感慨を覚えます。両大会は毎年熱戦が展開され、ときに伯仲した場面や思わぬ珍プレーで会場が沸き、大会目的である

地域間の親睦交流が図られています。

両大会の盛り上がりは参加選手の方々の活躍によるものですが、その背後にこの大会を担ってきた方々のお力があります。分館役員の方々は人口減の状況の中、選手選出に苦心されてチーム編成に当たられ、また壮年ソフトボール連盟の皆さん、女子バレーボール連盟の皆さんにはコート作りなどの準備段階から当日の審判を務めていたなど大会の要となっていたといわれています。

スポーツ事業はほかに町民ハイキング、少年球技大会、ソフトバレーボール大会など各種ありますが、それらの事業には民

間メンバーのスポーツ推進委員と厚生体育部員の方々のご助力によって行なわれています。両員の皆さんには町民ハイキングやトレッキングでは行き先の下見

検討から当日の参加者サポートまで、各種スポーツ大会では準備、運営、片付けまでとフル回転で活動してもらっています。四十六回といえば町の文化祭も昨秋回数を迎えました。町文化祭の歴史過程を簡単にたどって見ますと、スタートの第一回は昭和四十八年でしたが、そのときは小海町産業文化展という名称で、産業部門と文化部門の二部門で展示発表が行われました。昭和五十年の第三回から産業部門は年毎に新生産品を出展するのは難しいとの理由で文化展のみとなり、昭和五十三年の第六回からステージ発表が加わり、現在行われている文化祭の形となっています。会場も町

公民館から総合センターへと変わり、現在の集集館に移ってから四年になります。こうした経緯からも知れるように文化祭のありかたについてその時々で検討され、新たな方向に進められてきました。

文化祭もかつてのような規模でなくなつたといわれる昨今ですが、昨秋の文化祭では展示部門、ステージ部門でそれぞれグループ、個人合わせて二十組以上(入数にしてそれぞれ百名以上)の方々の出品、出演があり、多くの来場者の方々に楽しんでいただきました。

この文化祭も準備、実施にあたって両部門の代表者による実行委員会がもたれ、そこで練られた案や意見に基づいて行われています。

また毎年の事業に町の音楽堂で行なわれる森の音楽祭があり、音楽を愛好する皆さんと関係実行委員の方々によって開催され、

子どもたちから年輩の方まで出演者と聴衆で会場があふれています。

こうした定例事業のほかに集集館では企画協力していただく方々による町の地勢や歴史に関する講座や手芸教室が開かれ、町民の皆さんに熱心に参加いただいています。また玄関のミニギャラリーには町民アーティストの方の作品が展示され、その傍らに個人のご好意で添えて下さった生け花や盆栽とともに来館者の方々の目を和ませています。

このほか公民館登録グループや各分館の皆さんの活動があり、町の文化、スポーツ活動は年間にわたって、町民の皆さんのご熱意とご活躍によって推進されています。

町民の皆様のお力に敬意と謝意を表しますとともに本年もますますの公民館活動の進展を願ひまして新年のご挨拶とさせていただきます。

新成人、晴れの出航

平成三十一年成人式が一月三日(休)に小海町総合センターで行われます。

対象者は全員で四十六名です。新成人の皆さんは次の通りです。

本間下 井上 崇 関 大輔

本間上 平林 天斗 関 恵利奈 関 春佳 山口 真歩 篠原 克哉 本間川 篠原 裕介 溝の原 畑 誠治 杉尾 篠原 誠治 馬流元町 辻 椋副 馬流高根町 篠原 大輔

馬流清水町

篠原 悠斗 伊藤 亜美 木村 風花 倉根樹希也 田中 萌華 新津 裕也 鷹野 将宏 山口 恋 井出 海斗 高橋 慶 浅井 信弥 菊池 悠太

芦谷

有井 信乃 岡部 翼 黒澤 佑斗 出浦 恵 星野 めい 新津 恵佑 新津 小雪 油井 理子 新井 紗希 原田 結羅 油井 一輝 土村南町 小山 幸介

東馬流

近藤 郁花 武川 浩也 出浦 舞雪 有我 愛翔 油井麻菜佳 井出 樹 井出 幹乃 井出隆太郎 内藤 茜 今井 駿

羅針盤

平成最後の新年を迎えました。この間大切な家族や友人を亡くした人、子供達の成長や新しい家族の誕生に歓迎した人、自分の生活環境の変化や体力の衰えと様々な人生が有ったと思います。日本の社会は、経済や外交に於いて未だ解決出来無い大きな問題もたくさん抱えています。物質的には世界でも上級な部類に入っており、訪日外国人客の増加等、観光面では今までの大都市有名観光地から、四季折々の自然や、地方に住む人々が代々受け継いできた伝統文化へと感性が変わって来ているようです。

少子高齢化や人口減少により正月の伝統行事や、食べ物、遊びも維持出来なくなっている所もあります。核家族化が進んでいます。正月は家族が集まれるよい機会です。パソコンやスマホゲームには一息入れて、昔の遊びに皆で挑戦してみても如何でしょうか。

亥年男・年女の皆さんに 新年の抱負を語って頂きました

公民館報編集委員会では、亥年男・年女の
方々に「新年の抱負」を語っていただきました。

第三の人生を 目指して

八那池

小池 藤平



生まれてから今年で六回
目の年男を迎え、ここまで
来たからには後何回できる
か、益々気合が入ります。

私が生まれたのは、昭和
二十二年、二十六歳で結婚
し、落ち着いて生活してい
たのが、二年程。選技試験
で、専門部へ入学してから、
転勤、単身赴任が始まり、
鈴鹿で教官、長野で技術指
導、松本、飯田では所長を
任されたが、部下がほとん
ど仕事をしてくれたので、
北・中央・南アルプスと全
て登りきり、長野オリンピ

ックで長野へ呼び戻され、
ビル管理へ。ドコモの各ビ
ルを始め、最後はこの小海
町役場の新庁舎落成に関わ
り、遊んで暮らした第一の
人生を五十四歳で終了する。

平成十四年、待ち望んで
いた第二の人生が始まる。
これからは全て自ら生活設
計をし、自ら行動しなければ
人生は動いていかない。

四月から六月は農作物の蒔
付、仕立て、七月から十月
野辺山集荷場の検査員。十
一月、十二月農作物の取込
み。一月～三月伐採作業と
薪作りとが一年間の大体の
作業周期である。平成二十
六年春には前立腺癌で一週
間入院生活、秋には待望の
初孫に恵まれ、二十九年に
は子供達に古希のお祝いを
やってもらう。今年で平成
も終わり、次の年号に変わ
る訳であるが、私の人生の
節目には必ず何か時代の変
化が付いて回っている様だ。

現在シニア大学で先輩や後
輩達と学んでいるが人生の
ヒントを数多く得ることが
ある。五年後の七十七歳で
ある喜寿を第三の人生の出
発点に定め、今までの猪突
猛進の生活から、ソフトラ
ンディングして、独りでも
できる、釣り、プラモデル、
スケッチ、写真、書道、独
り旅等しながら、百歳、い
や百二十歳まで生きられる
体力と精神力をつけていき
たい、又中部横断道路も具
体化してきているので、こ
の目で故郷の変化を見届け
たい。

(七十二歳の春 自宅にて)

亥年に思うこと

本村

長田 絹恵



本年六十歳になる私は現
在、東京狛江市と故郷の小

海町を往復する生活をして
います。

十八歳で都会に出て「二
年経ったら帰って来るね」
という約束をあっさり破り、
都会暮らしの夫と結婚して
しまいました。

小海には夢がない、仕事
がない、居場所がない、と
勝手に決めつけ、狛江の賃
貸住宅に落ち着き、「さあ
やるぞ!!」と一見、夢の世
界の舞台衣裳やファッショ
ンショーのサンプル作りで、
昼も夜もミシンを踏み続け
とうとう身体を壊してしま
いました。

そんな東京生活で花やハ
ーブを育てて癒され、更に
ペランダ下の痩せた土でも
生ゴミを埋め続けることで、
何でも育つ土になると学び
ました。

花から野菜へ。今ではゴー
ヤ等こぼれる種から食べき
れないほどの収穫です。

こうなると 俄然面白く
なってきました。

小海には、夢がないどこ
ろか、宝の山がゴロゴロで
す。

平成二十九年町の農業セ
ミナーに参加し冬でも葉物
野菜を作ろう、と補助金を
得て、ビニールハウスを建

てました。
ハウスの中の葉っぱたち
は、私が留守中でもスクス
ク育っていて希望と勇気を
貰っています。

まだ農家と胸を張れるレ
ベルではありませんが、小
海での自給生活目指して
まっしぐら進んでいきます。

それぞれの四十八歳

松原

畠山 久美



人生で四回目、小海町に
来て二回目の年女。

主人と知り合うまで知ら
なかつた小海町に来てもう
すぐ二十年。現在中学生の
息子二人とボーダーコリー
のシエルの四人と一匹で暮
らしています。何年経って
も四方を山に囲まれている
圧迫感と厳しい寒さには慣
れませんが、小海に
来たからこそ知り合えた方
達が支えてくれていて来ら
れたと思います。

今回この原稿の依頼を受

けて四十八歳という年齢を
考えた時にふと思ったのが、
実家の母と父方の祖父も同
じ亥年で、二人共結婚が早
かったせいもあるけれど、
私と同じ四十八歳の時に母
には成人した娘がいて、祖
父に至っては孫が二人いた
ということ。子供の成人や
孫なんて私にとってはまだ
先のことなのですごく不思
議な感じがします。有難い
ことに二人共健在で、ここ
まで来たら祖父には頑張っ
て百寿を迎えてもらいた
いです。

一方私は三年前に病気に
なり副作用で動くのも辛い
時期もありましたが、今は
短時間の仕事や息子達のサ
ッカーの試合応援に上田や
軽井沢、先月はシエルの家
族会で山中湖まで出かけた
れるまで回復してきました。
病気のお陰で当たり前の日
々がとても有り難い事なの
だと実感しています。

人生後半戦。日々感謝
しつつ家族仲良く過ごして
いきたいです。



感謝の気持ちを言葉にして

二タ小池
山下 聖子



長女が保育園に入園する年の二月、小海での生活をスタートさせ、もうすぐ十年です。佐久市出身の私には、小海での生活に不安もありました。仲の良い友達も居ない新しい場所での生活を過ごしているのは、子供たち、家族、気がつけば沢山出来たママ友、周りの方々のお陰です。

そんな沢山の方々の優しさに触れ、不安だった気持ちもいつの間にか消えていました。困っていれば助けられて、悩んでいれば話を聞いてくれる。私の周りには素敵な方ばかりです。子供たちにも、そんな優しい人になってほしいと思います。私はと言うと、感謝の気

二十四歳を迎えるにあたって

松原 鷹野 紗輝



今年で二十四歳になるのかと思うと時の流れはとて早いなと思います。自分が社会人になるのはまだまだ先だと思っていたのに、昨年の三月に大学を卒業して、四月から社会人になりました。

大学は松本へ通っていて、小海町とは違う場所で生活してみても、改めて小海町の良さを感じることができました。そのため私は、就職をするなら絶対地元と考え

ていたので、地元で就職できたことを嬉しく思います。

四月から働き始め、初めての人、初めての環境で仕事をするのは、とても緊張しました。慣れないことも多く、時には落ち込むこともありますが、職場の方々はとても優しく頑張れています。また、地域の方々がたくさん来店される職場なので、たくさんの方と顔見知りになりお話をすることがとても楽しく、励みになっています。

これから先も大変なことが多いと思いますが、家族や周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに頑張りたいと思います。

昨年は怪我の多い年だったので、今年には怪我なく健康な一年を過ごすことが一番の目標です(笑)

今年の目標

小海小学校 鷹野 珀



ぼく今年の七月十九日に

十二才になる年男です。そして六年生になります。

ぼくが六年生になった時に目標にしたいことは「小海小学校の最高学年として全校を引っぱって歴史を作っていきたい。」という事です。ルールを守り、困っている人を助け、全校が楽しくなるようにしたいのです。

まずは六年生がルールを守り見本となるようにになりたいです。ぼくは今、遊びとかは時間になったらすぐにやめられるけど、友達にたまあにいじわるしちゃったり、廊下を走っちゃったり、まだまだルールを破っていることがあります。なので、みんなと一緒に守っていきたいです。

次に、「困っている人を助ける」ことです。今地球には困っている人たちがたくさんいます。小さい子ども、貧しい生活をしている人、お年寄りの方々など助けを必要としている人がいます。学校でもユニセフ募金やエコキャップを集めたりしていますがなかなか集まりません。「困っている人を助けるんだ!」という強い気持ちを持って、少し

でも多くの人の役に立てるようにになりたいです。

三つ目は全校が混ざり合って遊べる様にしていきます。卒業した後も十年後も二十年後もそういう学校であるような小海小学校にしたいのです。これもぼくたちから他学年の人と遊んでいきたいです。

今年、がんばりたいこと

小海小学校 坂巻 こはる



私は、今年で生まれてから十二年が経ちます。そして小学校生活最後の年となり最上級生になります。私はそんな年ががんばりたいことがいくつもあります。一つ目は「予習復習などたりなかった学習を自分学習する」ことです。無理をせずできる日だけやり、やった日をカレンダーにつけ、一ヶ月に何回やったかを見て次の月は何回やろうなどと数を増やしながら続けていくことです。こうすればあまり無理をしないで続けられると思います。

二つ目は、「知らない人に自分から大きな声で挨拶をする」ことです。私はたまに自分から勇気を出して挨拶をするけど、返してくれない人がいます。そういうときは嬉しくありません。だから相手の気持ちを考え、自分から挨拶ができるようにして、相手も自分も気持ちよくなれるようにしたいです。

三つ目は「人任せにしないで自分から色々なことをやってみよう」ことです。何でもすぐに「これはやらない」と決めつけないで「これくらいならやろう」と少しずつやることを見つけて、人任せにすることを少なくしたいです。そして自分にできることは手伝えるようにしたいです。

目標を決め、達成する方法を考えました。今年は今まで以上にがんばりたいです。



みんなの楽集館



親子ふれあいスケート教室開催

元気な小海っ子事業として子育て支援課、生涯学習課共催の親子ふれあいスケート教室が12月の日曜に開催されました。この教室は南佐久スケート協会の方を講師に迎え、スポーツ推進委員、厚生体育部員の皆さんにご協力いただき、初めてスケートを滑るお友達、もっと上手になりたいお友達など保育園、小学生の親子を対象に、スケートの体験、スケート人口の増加を目的に行われました。例年2回の教室を今年度は3回に増やし、各回、親子で50人程の参加者で大盛況でした。

講師に滑り方、止まり方を教えてもらったり、楽しいゲーム形式の教室に、子ども達は夢中になり、あっという間に滑れるようになりました。一緒に滑る保護者の方のほうがおっかなびっくりのようでした。

今年度から町内の小学生以下の方の滑走料金は町が負担します。この機会にぜひスケートセンターへお出かけ下さい。



新刊ピックアップ

■宮部みゆき全一冊

作家生活30年を記念して宮部作品のルーツと創作活動がまとめられた一冊。未収録の短編小説・エッセイ・対談や著者による朗読CD付の贅沢な内容。宮部さんの魅力がつまっていて初読も再読も楽しみになりますよ。



■グライ・ラマの猫 デビッド・ミチー

グライ・ラマに拾われて共に暮らす捨て猫。はたして猫はグライ・ラマの傍らで何を見聞きし、感じ、どんな生活を送っているのか？猫の視点で語られる「本当の幸せとは？」…チベット仏教の教えが散りばめられた物語。



今月の図書館

野菜づくりをもっと楽しく!!

第1回家庭菜園教室&小海町図書館 DVD上映会 「野菜づくりのコツと裏ワザ」

DVDを使った学習会です。雑誌「現代農業」でおなじみの農村漁村文化協会から講師をお招きし、開催します。

日時：平成31年1月15日(火)
午後1時30分から3時

会場：北牧楽集館 多目的ホール

講師：一般社団法人 農村漁村文化協会
大池俊二 氏

参加料：無料

植え方のコツや土づくり、これからねらい目の品目など…この冬の間と一緒に学習しましょう！

第2回目は2月19日(火)

第3回目は3月19日(火)に開催します。

第二十六回人権を考える町民の集い開催

女優有馬理恵さん 一人芝居と講演

十一月二十五日(日) 第二十六回人権を考える町民の集いが小海町総合センターにおいて開催されました。当日は一八〇名余りの多くの方に参加していただきました。

集いは最初に小海小学校六年生の松本実怜さん、小海高校PTA会長の小澤利充さん、小海町公民館長の井出和利さんによる意見・体験発表が行われました。

続いて、劇団俳優座所属舞台女優 有馬理恵先生による「差別と戦争をなくすために」〜ふるえるような怒りの奥底にすぎると題して一人芝居と講演が行われました。

有馬先生はご自身も被差別部落で育った体験を始め、現在も残る職業差別や結婚差別に対するお話、なぜ、差別は残っているのか、どうしたら解決していけるのか、有馬先生自身のお考えをご講演いただきました。また「釈迦内権唄」の一人

芝居では、代々人の亡骸を埋めたり焼いたりするのを生業としているふじ子の話、幼い頃家業が火葬場だったためにいわれのないじめにあつたことを大熱演じていただきました。秋田弁で語られるふじ子一家の歴史は決して明るいものではないのに、ふじ子は時折笑い声を上げながら語ります。笑いながら話始めると話すうちに理不尽な結末になり、悲しさや悔しさで声を震わせます。ふじ子の父は「人は死んだらみんな、焼かれて灰になるのだ」と生前の地位や貴賤で人を差別しません。有馬先生の

迫力ある演技に会場にいた人からは、「胸を打つお芝居だった」「一緒に涙が浮かんた」などの声が聞かれました。九十分を超える講演はフィリピンで日本軍の慰

安婦にさせられたトマサ・サリグノさんの話と一人語りの上演で終わりとなりました。演題の通り、ふるえるような怒りの奥底にすぎると題していただきました。人権に関する様々な法律が施行されていますが、未だ人権問題は起きています。町民の皆さん一人ひとりが人権についての意識を改めて持ち、差別のない明るい町を目指していきましょう。

有馬先生はご自身も被差別部落で育った体験を始め、現在も残る職業差別や結婚差別に対するお話、なぜ、差別は残っているのか、どうしたら解決していけるのか、有馬先生自身のお考えをご講演いただきました。また「釈迦内権唄」の一人

有馬先生はご自身も被差別部落で育った体験を始め、現在も残る職業差別や結婚差別に対するお話、なぜ、差別は残っているのか、どうしたら解決していけるのか、有馬先生自身のお考えをご講演いただきました。また「釈迦内権唄」の一人



人権に関する標語

- 小海小学校**
 - 1年1組
 - ・ じぶんのやられたくないことを しな
 - ・ いようにしよう 小池 侑輝
 - ・ もしもないている人がいたら はげま
 - ・ してあげるよ 折井 絢花
 - 1年2組
 - ・ けんかはずつから やめよう 小池 龍真
 - ・ あいさつは なかよくなれる ことば 篠原 滉人
 - だよ
 - 2年
 - ・ 小海小 えがおにそめる みんなでね 山岡 琉楓
 - ・ あいさつは みんなとやろう たのし 小池 莉桜
 - くね
 - 3年1組
 - ・ あいさつをすると え顔が ひろがる 篠原 京花
 - よ
 - ・ きらきらの えがおのたねを ばらま 松井 遙奈
 - こう
 - 3年2組
 - ・ あいさつは 人とのつながりの こと 内田 茉鈴
 - ばだよ おまじない
 - ・ やさしさは 心をつなぐ 友野 ここな
 - 4年
 - ・ ケンカをしても すぐあやまって 元 菊池 希来
 - ・ 気にあそばう
 - ・ 「だいじょうぶ？」と 声をかけると 友だちわたしもいい気分 召田 友鈴
 - 5年
 - ・ 大丈夫 仲間は来るよ 信じてね 金森 史音
 - 6年
 - ・ 学校に いじめや差別 いらないう 新津 真成
- 小海中学校**
 - 1年1組
 - ・ ありがとう 感謝の気持ち 山下 聖奈
 - ・ 菊池 結絆
 - 1年1組
 - ・ 認め合う 個性はちがう だからいい 篠原 拓人
- 周りの人に 左右されずに生きようよ 宮澤 侑也
- ・ 自分でね 判断しよう 考えよう 毛利 優吾
- 1年2組
 - ・ 動く前 相手の気持ち 考える 佐藤 飛鳥
 - ・ 助けよう 悲しい顔を 見かけたら 篠原 聖奈
 - ・ ひどいだけ かなしい思い させない 中島 佑結
- 2年1組
 - ・ 言葉の意味を考えて それ言つて良い こと、悪いこと? 小林 薫子
 - ・ だれもが持つもの 人権 佐々木崇人
 - ・ 人間は 平和を求め 生き物だ 堀川 愛奈
- 2年2組
 - ・ 気を付けよう 差別の根っこは 誰の 心にもある 菊池 雪乃
 - ・ いけないと分かっているのに 差別す るから 相手の痛みを 理解しよう 黒澤 歩愛
 - ・ つながるよ その行動が 差別にね 新津 翔太
- 3年1組
 - ・ いじめをしない。させない。みんな同 じ人間だから。 篠原 弘暉
 - ・ 『かわいそう』が 偏見の始まり 菊池 広靖
 - ・ 相手と違いを認め合い 自分の常識振 り返ろう 佐々木翔大
 - ・ 嫌悪から育まれる差別の芽 その芽摘 み取れ 正しい知識で 浅野 快
- 3年2組
 - ・ 知らぬ間に 傷をおつてる あなたの となりで 新井 逸生
 - ・ 流されない 強い勇気と 意志持とう 菊池 穂衣
 - ・ 気付かない すきまにひそむ 差別か な 斉藤 芹奈
 - ・ 理解しよう 相手の気持ちを 日ごろ 吉澤 岳大

郡下の力作揃う 第五十回南佐久郡総合文化展開催

第五十回を数える、南佐久郡総合文化展が十一月十日、十一日の二日間川上村文化センターで開催されました。

郡下六町村から絵画、書道、陶芸、木彫、手芸、写真、俳句等二八〇点余りの作品が出品され、小海町からは書道、陶芸、手芸、手芸、写真など約七十点程の作品が出品されました。会場には、丁寧に丹精こめて作成された力作が揃い、二日間で一五〇名の皆様が登場されました。



写真の部
賞 黒澤豊子さん
会長賞



賞 竹花友理香さん
会長賞
手工芸の部一般Ⅱ

審査の結果、小海町では書道の部、写真の部、手芸の部、パッチワークの部、手工芸の部で公民館運営協議会長賞、特選、秀作の合わせて七作品が受賞しました。

町の文化祭に引き続き、多くの方に出品していただき、素晴らしい文化祭となりました。

来年は佐久穂町で開催されますので多くの方に出品していただきたいと思えます。

なお、受賞された方は次の通りです。

会長賞 書道の部 井出富美子さん



賞 井出富美子さん
会長賞

公民館運営協議会長賞
書道の部
井出富美子さん

写真の部
黒澤 豊子さん

手工芸の部 一般Ⅱ
竹花友理香さん

特選
手工芸の部 パッチワーク
篠原三千子さん

秀作
写真の部
山岡 淳一さん

手工芸の部 パッチワーク
鈴木 恵子さん

井出ヤソ江さん

1月～2月の生涯学習事業

○催事

平成31年成人式
1月3日(木)

○体育行事

第68回松原湖スケート大会
小学生の部
1月14日(月)

第22回スケートセンター杯
2月9日(土)

第27回ソフトバレー大会
2月24日(日)

○知恵の泉事業
スポーツ観戦 (大相撲観戦)
1月21日(月)

○交流事業

(大洗町小学生来町)
2月16日(土)・17日(日)

○その他教室

おはなしの会
1月28日(月)

手芸教室
2月25日(月)

家庭菜園教室
1月17日(木)

歴史講座
2月19日(火)

健康体操教室
1月7日(月)

21日(月)

28日(月)

2月4日(月)

1月8日(火)・15日(火)

2月5日(火)・19日(火)

○移動図書

2月4日(月)

1月8日(火)・15日(火)

2月5日(火)・19日(火)

「ギャラリー創」からのお知らせ

○小海フォトフェスティバル2018「写真の扉」展
2月2(土)～2月24日(日)
H30年6月9～6月10
日小海町高原美術館をメインに町内指定エリアと白駒の池で行われた「決められた時間、決められたエリア」で小海町を撮影した写真イベントの作品展示。

松原湖観光案内所
電話 93-2005
水曜日休館

〈お知らせ〉

小海町公民館報に掲載中の「染めごよみ」が五十号を記念して本になりました。執筆者の自費出版ですが、松原観光案内所と八峰の湯にて販売しています。定価は千五百円(税込)です。

壮年ソフトボール「オール小海」全国大会出場!

小海町壮年ソフトボール連盟の「60クラブ」を母体とする「オール小海」(十四名、平均年齢七十・五歳)が十月二十日・二十一日の二日間、岩手県花巻市で行われた「第五回ジョイフルソフトボール全国大会」に出場しました。

まことに不本意でしたが、大会の趣旨に則り、親睦と(国際)交流を深め、「信州・小海町」を大いに宣伝させていただきました。ジョイフルソフトボールは、より多くの人が楽しめるように考案された安全性の高いスポーツ競技です。しかし、本大会に出場した全国各チームの多くが選手の高齢化と世代交代を課題としています。「オール小海」も例外ではなく、年齢五十九歳以上の男性で、ソフトボールを愛好し、チームの和を大切にする「新人」を募っていますので、興味・関心のある方はチーム代表者中島春吉(電話九二二九〇七)までお問い合わせ下さい。

選手一同、九月二十九日・三十日の「第一回東海・北信越ジョイフルソフトボール大会兼小海町ソフトボール連盟創立四十年記念大会」(会場 小海町松原湖総合グラウンド)

が、台風二十四号のため中止になった無念な思いを胸に、全国の強豪チームと対戦しました。戦績は一勝三敗で、平成二十七年の台湾チームに次ぐ「Aブロック準優勝」を超えることができません。



教育委員会だより
教育こうみ

共育の広場

Vol.34
…1月号…

小海小学校 PTA講演会が行われました

11月22日、授業参観とPTA講演会が行われました。PTA講演会には、車いすバスケットボール選手、中田真也さんをお招きし、『車いすの生活に変わって』という演題でお話をいただきました。中田さんは21才で怪我のために車いすの生活となったそうですが、ご自身ができることは何かと前向きに考え、現在はバスケットボールの他にも、マラソンやスキーにも挑戦されているそうです。講演では、中田さんがバスケットボール用の車いすを軽快に操作したり、参加した児童が実際にマラソン用の車いすに乗り、中田さんの指導で体育館を一周したりする場面があり、非常に活動的な内容でした。中田さんからは「怪我があって車いすの生活になったが、怪我をしたことで一日一日がとても大切であることに気づいた。それ以前より、毎日を充実させたいという気持ちが強くなった。皆さんもぜひ毎日を充実したものにしてほしい」との力強いメッセージをいただきました。



がバスケットボール用の車いすを軽快に操作したり、参加した児童が実際にマラソン用の車いすに乗り、中田さんの指導で体育館を一周したりする場面があり、非常に活動的な内容でした。中田さんからは「怪我があって車いすの生活になったが、怪我をしたことで一日一日がとても大切であることに気づいた。それ以前より、毎日を充実させたいという気持ちが強くなった。皆さんもぜひ毎日を充実したものにしてほしい」との力強いメッセージをいただきました。

小海中学校 後期人権教育月間を通しての学びを自分の言葉で「標語」にしました

10月15日から11月9日まで後期人権教育月間を設定し、初日の15日には、人権教育講演会を開催しました。小諸養護学校重度重複学級自立活動担当宮下淳先生を講師に、生徒代表者による車いす体験や障がいのある生徒の思いの受け止め方、そして「共に生きる」大切さや必然性を教えていただきました。それをもとに、1学年は「障がいのある人への接し方・バリアフリー」、2学年は「部落差別の起こり・水平社宣言」、3学年は「部落差別（結婚差別）・身の回りの偏見」等について学びました。



11月13日の6校時には人権学習発表会を行い、1カ月間の学びを全校で確認しました。最後に、人権教育月間を通しての学びを生徒一人一人が自分の言葉で「標語」にし、廊下に掲示しました。また標語の数点は11月25日第26回人権を考える町民の集いの会場に掲示させていただきました。いくつかご紹介します。

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 「ひとりだけ かなしい思い させないぞ」 | (1年 中島 佑桔 さん) |
| 「気を付けよう 差別の根っこは 誰の心にもある」 | (2年 菊池 雪乃 さん) |
| 「いじめをしない。させない。みんな同じ人間だから」 | (3年 篠原 弘暉 さん) |

これからも、学校目標「思いやりの心」の具現に努めてまいります。

今! 小海高校 新年のご挨拶 小海高等学校長 土屋 茂夫

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平素より皆様には本校の教育活動にご支援とご協力を賜り心より御礼を申し上げます。

本校は、明治40年南佐久郡立農業学校臼南分校として歩み出して、111年の時を刻んできました。創立以来、幾多の校名変更や移転を重ね、その間地域の皆様の温かい励ましとご支援により今日まで成長し、県内外で活躍する人材11,000余名を輩出してきました。今も320名が勉学に教育活動に励んでおります。

長野県は、新たな高校の在り方について昨年9月に方針を策定しました。今後は授業が変わり、環境が変わります。そしてこの地域の高校はどうあるべきか、地域の皆様と話し合いながら進めていくこととしています。この地域の子供たちの教育や学びの場の整備は大人の責務であります。皆様には小海高校創りの良きパートナーとして共に歩んでいただきたくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって幸多かれとお祈りし年頭のご挨拶といたします。



平成30年度 全国学力・学習状況調査の 結果がまとまりました

毎年、小学校6年生と中学3年生を対象として実施されている全国学力・学習状況調査の結果がまとまりました。

1. 学力調査の結果について

今回は、例年の国語、算数（数学）に加え、3年に1度の理科がそれぞれの学校で実施されました。

「基礎知識」を問うA問題と、学んだ知識を活用するB問題が出題されましたが、結果として、小学校、中学校ともB問題に対する今後の課題がみつかりました。

2. 上記の結果を踏まえたこれからの取組み

小学校

各科目とも基礎的な力はついてきている様子がうかがえるので、ワークシートやICT機器を活用し、ついた力が認識できる授業づくり、補充補完的なドリル学習など個に応じた指導などをひきつづき行います。

活用を問うB問題については、複数の資料から得た情報を総合的に考察するだけでなく、そこから自分自身の考えを持つ力、自分自身の考えを相手に伝えるように表現する力などが求められており、相互の「学び合い」による授業を大切にしていきます。

中学校

○国語…長文を読むことが苦手な生徒のために、意図的に長文に取り組むとともに、読み取ったことや考えたことを指定された字数でまとめる等、日頃の授業の中で指導の工夫を図ります。

○数学…その日に習ったものを定着させていくことや授業の中で基本になる既習事項を丁寧に振り返ること。また、グループ学習の際、お互いに説明しあう時間を設け、正答について論理的に説明を加える指導を進めます。

○理科…基礎・基本を定着させるためのドリル学習を実施します。また、実験の際には課題解決のために条件を確認させたり、説明させたりしてから取り組むようにします。

3. 児童・生徒へのアンケートの結果はつぎのとおりです。

(「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」の肯定的な回答の計)

1. 自分にはよいところがあると思いますか

小海小	84.6	小海中	82.2
長野県	84.2	長野県	79.7
全国	84.0	全国	78.8

2. 将来の夢や目標をもっていますか

小海小	96.2	小海中	68.8
長野県	85.1	長野県	72.3
全国	85.1	全国	72.4

3. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

小海小	100.0	小海中	95.6
長野県	95.3	長野県	95.9
全国	95.2	全国	94.9

4. 朝食を毎日食べていますか

小海小	100.0	小海中	91.1
長野県	95.8	長野県	93.5
全国	94.5	全国	91.9

5. 家で、学校の宿題をしていますか

小海小	96.1	小海中	86.7
長野県	96.3	長野県	91.0
全国	97.1	全国	91.6

6. 今住んでいる地域の行事に参加していますか

小海小	100.0	小海中	80.0
長野県	86.4	長野県	63.4
全国	62.7	全国	45.6

教育委員会情報 11月

●町教育委員会11月定例会 (平成30年11月27日)

- 議案1 教育委員会委員の辞任の同意について
・辞任が同意されました。
- 議案2 学力テスト結果広報案について
・広報案が検討されました。
- 議案3 働き方改革基本方針案について
・教育委員会案が検討され、小学校と調整することが了承されました。

●中学校組合教育委員会11月定例会 (平成30年11月27日)

- 議案1 中学校組合教育委員会委員の辞任の同意について
・辞任が同意されました。
- 議案2 学力テスト結果広報案について
・広報案が検討されました。
- 議案3 働き方改革基本方針案について
・教育委員会案が検討され、中学校と調整することが了承されました。

熱い共育人

vol.32

小海高校 上原 雄貴

昨年度より小海高校でお世話になっています。出身が松本のため小海町に来たのは初めてでした。美しい自然に囲まれて育った生徒たちはとても純粋で、何事にも一生懸命取り組んでくれます。そのような姿に日々、多くのことを学ばせてもらっています。

この10月、11月は3年生にとって大学・専門入試や就職試験のピークでした。試験前の生徒たちは表情が暗かったり、緊張している様子でしたが、毎日毎日夜遅くまでいろいろな先生の所へ行き、面接練習や小論文対策などを頑張っていました。試験のための準備に多くの時間を費やしたおかげで、笑顔で合格報告に来てくれる生徒が多く、この仕事をしていて良かったと感じました。また、今回合格できなかった生徒はもう気持ちを切り替え、次の志望校に向けて準備を進めています。生徒が最後の最後まで頑張れるようにこれからも支えていきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様には日頃から小海高校にご理解とご協力いただきありがとうございます。今後とも生徒たちのために力を合わせて取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

広報こうみ

第156号

<http://www.koumi-town.jp/>

E-mail koumi@koumi-town.jp

子ども議会開催される

11月6日、子ども議会が開催されました。議長役を務めた新津蒼太君のあいさつを紹介します。



5年生



6年生

校五年生六年生を子ども議会に呼んでいただき、ありがとうございます。



○議長（新津蒼太君）

お忙しい中、おいで頂きました町長さんをはじめ町の皆様今日はよろしく願います

僕たちが住んでいる小海町について、良く知らないことも多いですが、今日は学校で選んだ子ども議員がみんな考えてきた提案をします。

もくじ

子ども議会開催される	12~16
平成30年度地区懇談会の報告	17
町税等納期のお知らせ	18
町政ご意見箱 ご意見一覧 10月分	18
平成31・32年度入札参加資格審査申請についてのお知らせ	18
佐久税務署からのお知らせ	19
がん検診（子宮総合検診、乳房検診）の受診はお済みですか？	20
無料で受けられる歯周病検診をご存知ですか？	20
国民年金保険料はクレジットカード納付もご利用できます	21
第35回 小海町健康福祉まつり開催	21
地区防災計画・マップ	21

中部横断自動車道（長野県区間1kmルート帯幅）	
住民説明会が開催されました	22
直売所で根菜祭りが開催されました	22
小海町の風物詩！松原湖でワカサギを釣ろう！	22
小海町交通安全協会 フォトニュース	22
「第30回氷上トリアスロン小海大会 記念大会」参加者・運営委員募集	23
フォトピックス	23
くらしの情報	24
戸籍の窓	24
子育て支援だより	25
やすらぎ園だより	26~27



○第1番(篠原さくらさん)



小海町では「移住をする
とお金をもらえる」という
制度を実施していると聞い
たのですが、移住してくる
人が増えたのですか。私は
お金以外の物でアピールす
ることを提案します。くら
かけ豆、高原野菜など小海
町にはすばらしい特産物が
あると思います。プティリ
ツアをシンボルマークに
して、ブランド品を作れば
小海町の良さが広がり興味
を持つ人が増えて町に移住
する人も増えてたりすると思
います。

○町長

定住人口を増やすと
言うことは町の重要な課題です。
入ってくる人は増えまし
たが、高校を卒業するとほと
んどの人が出て行ってしま
う。これからは高齢化によ
り人手不足も深刻化すると思
いますので、是非皆さん

には帰ってくることもお考
え下さい。

○産業建設課長

町のキャラクターである
プティリツアをシンボル
マークにしてブランド品を
作れば小海の良さが広まる
との提案ですが、良い提案
ですので今後商品の包装な
どに入れるなど積極的に進
めていきます。

○第2番(黒澤慎吾君)



北牧小プール跡地をミニ
グラウンドにした所があり
ますがボールの使用が禁止
されています。僕はネット
などでもっと高くすること
でボール使用が出来ること
を希望します。安全面でボ
ールの使用が禁止されてい
るのであれば、鉄棒などの
遊具を増やしていただくこ
とを希望します。北牧の大
グラウンドにも、一、三星
側ベンチの屋根の設置を希

望します。

○教育次長

ミニグラウンドでボール
の使用を禁止している理由
は、ミニグラウンドを囲む
フェンスの高さが低く、住
宅の壁にボールが当たった
り、ガラスを割ってしまう
心配があるからです。また、
「鉄棒などの遊具を増やせ
ばどうか」との提案は、今
ある遊具は保育園の小さい
子ども向けの遊具で、渡り
鉄棒やブランコなどは大き
いグラウンドの児童館側に
ありますが、ミニグラウン
ドの遊具の利用が増えたり、
違う遊具の希望が多いよう
であれば、希望に添えるよ
う考えることが必要と思っ
ております。次にベンチ屋
根設置についてですが、屋
根を付けることにより野球
の支障にならないか、バッ
クネットとのバランスはと
れているか、サッカーでは
危険は無いかなど確認し、
設置するかどうか検討しま
す。

○第3番(津金彩乃さん)



プティリツアをもっと
知ってもらえるために、プ
ティリツア作りを無料体
験出来る場所を作ることを
提案します。その場所では
町の展示会、インターネッ
トでの紹介やカフェ、小さ
な子ども達が楽しく遊べ
安全な所でゆつくり出来る
と思います。そのプティリ
ツアを特産品としスパー
ーや駅前、八峰の湯などで
販売すれば、観光客が買っ
てくれる人が増えてに
ぎわうのではないでしょ
うか。

○町長

ご提案につきましては、
町の農産物加工直売所や
るのが一番いいのではない
かと思います。くらかけ豆
などの特産品や土産品など
も多数そろっています。中
部横断自動車道が八千穂高
原インターまで開通したこ

とによって、観光客の皆さ
んもかなり増えてきていま
す。条件としては一番揃っ
ているのではないかと思
います。

○第4番(土屋秋晴君)



僕は提案が二つあります。
一つ目は、体育館の新設で
す。色々な競技が出来るよ
うにして無料で使えるよう
にすれば良いと思います。
松原湖のスケートリンクを
学生は無料で滑られるよう
にすれば、利用者でぎわい
活気のある町にできると思
います。二つ目は、近隣町
村へ小海のスポーツチーム
への募集をかけることです。
またそのチームで大会に出
れば多くの人に小海町のこ
とを知ってもらうことがで
きると思うからです。

○町長

小海町には、三箇所の体
育館があります。放課後や

休日には社会体育館として無
料で利用されています。残
念ながら今は新しい体育館
を建設する計画はありません。
次にスケートセンター
の小学生の無料化について
ですが、今年から小海小学
校の児童の皆さんは、無料
で利用できるようにしまし
た。ですから積極的にスケ
ートをやりに来てください。
団体競技の人員確保に向け
た提案ですが、みんなで協
力し結成したチームが、県
大会・北信越大会などで活
躍し、小海町の事を大勢の
皆さんに知ってもらえれば、
本当にありがたいことです。

○第5番(篠原孝平君)



私は、子育てを支援する
施設をもっと増やすことを
提案します。具体的には子
育ての相談所などはどうで
しょうか。親たちの悩みも
軽くなり、子育ての負担が

軽減するのではないでしょう。また、町のことや改善してほしいことなども相談できるようにすれば、町がより良いものになり、たくさんの方が安心して暮らせる町になると思います。

町では高齢者が増えていると聞きました。介護のシステムをもっと充実させて安心して暮らせることを提案します。

○子育て支援課長

町には子育て支援施設として、小海保育所と小海なかよし児童館があります。保育所では現在一〇〇名のお子さんを受け入れており、安心・安全の保育をしているところ。また、小

海なかよし児童館は、日曜・祭日を除いて開所しており、児童館と子育て支援センターの機能を併せ持つております。子育て支援センターは、未就園児〇歳〜二歳が対象で、子育て広場として利用できます。只今の「子育て相談所」の設置につきましても、子育て中の皆さんや色々な方々からも

意見を頂戴し、どこに建てればいいのかなどを検討して参りたいと考えます。

○町民課長

高齢化に伴う介護システムの充実に向けた提案ですが、一人暮らしの高齢者や高齢のご夫婦のみの世帯の皆さんは、買い物や毎日の食事の支度も大変な仕事になっていきます。町としても、移動販売車を導入して高齢者の買い物の支援を行ない、あわせてきめ細かな見守りサービスを充実させることを検討しており、町を挙げて「高齢者が元気な町づくり」を積極的に進めて参ります。

○第6番(松井颯実花さん)



町に、信号、カーブミラー、街頭を設置することを提案します。本間下地区に横断歩道を渡ってバス停に行く一年生がいます。そこ

には信号がありませんので信号を設置いただけるとありがたいです。そして、馬流のビッグベンの曲がり角の所にカーブミラーを設置していただきたいです。また、夜に習い事帰りでも道が見えるように街灯を設置し、小中学生やお年寄りが安心して道を通れるように提案します。

○産業建設課長

歩行者が安全に道路を渡るため、横断歩道の信号機は大事なものだと思います。しかし、信号機を設置するには決まりがあり、その基準にあてはまらないと作ることが難しいです。本間の横断歩道の場所を確認し、信号機を管理している警察と良い方法があるか相談したいと思います。ビッグベンの曲がり角に、カーブミラーを設置して欲しいとのことですが、町としても国道一四一号線に出る箇所、交通量が多く、危険な場所だと認識しております。今、県と協議しながら、設置する準備を進めております。

街灯の設置や白線の塗り直しについては、街灯を設置するにあたって、その場所が設置できる場所か確認する必要があります。集落に詳しい区長さんと相談していきたいと思います。

○第7番(花里らなさん)



家族向けのレジャー施設を作ることを提案します。それが難しければ、八峰の湯の近くのアスレチックが古くなってるので安全に遊べるように新しい遊具を増やしてください。

○町長

小海町は、松原湖高原にキャンプ場、アスレチック、パターゴルフ、マレットゴルフ、釣堀、ボート、テニスなど楽しむことができる施設があります。これらの施設は町民の皆さんを始め観光客の皆さんにご利用いただいております。この南

佐久の町村の中でも最も充実していると思っています。ただ、町の中心部には土地がないのでなかなか大きな施設をつくるという訳にはいきません。今後どういった整備が良いのかを考えていきたいと思っています。

○第8番(小池大貴君)



小海町に町営バス以外にデマンドバスの導入を提案します。理由は、高齢者で運転ができない方や、バス停まで歩くことが難しい人が、簡単に自宅の近くからバスを利用できると思うからです。また、初めて乗る人は、一日無料ですればいいと思います。そうすることによりもっとデマンドバスを利用してもらえらと思

○町長

今後の高齢化社会においては大変重要な問題です。

デマンドバスの導入というご提案であります。デマンド」は日本語では「要求、要請」という意味で、利用者が交通業者に電話などで乗車を「要請」することで利用する交通手段のことをいいます。昼間は十人乗りくらいのワゴンタイプなどの小型車も活用し、高齢者がバス停まで歩かずに、自宅の近くから利用できる方法を考えていきます。また、利用料金もなるべく安く運用できるように、皆さんの貴重な意見を元にして、より良い交通政策を進めて参ります。

○第9番(村井奏音君)



僕の提案はお年寄りの皆さんがもっと自由に移動ができるように、バスの本数を増やすことと、各バス停にベンチを設置して座って待てるようにすること

です。自動車の運転が出来ない人も多くいます。冬などはバス停で待つことは、かなり辛いと思います。

○町民課長

現在運行している町営路線バスの課題として、利用者数の減少、特に昼間の利用者が少ないことが挙げられ、もともと過疎化で人口減少が進む中、利用者が少ないから昼間の運行ダイヤが縮小され、本数が少なくなるので利便性の悪さに拍車がかかるという悪循環になっていると思います。今後、町営バスの運行についてはかなり工夫や改善の余地があると考えております。お年寄りに対して、ベンチを置いて休めるようにしてあげたい、寒さ対策も考えてはどうかという、本当に優しく、心温まるご意見があります。ベンチや風よけの設置については、検討させていただきます。

○第10番(久保紗和香さん)



私の提案は生活補助についてです。小海町で生活する際、自家用車がとても重要です。近年ガソリン代が高くなっています。そして、各家庭を苦しめていると思うので、基準を決めて、燃料代の補助をしてもらえないかということですが。

○副町長

町では、町民生活応援事業として、原油価格がとも高くなった場合に、冬の期間の暖房に必要となる家庭灯油などの燃料費の支援をしています。昨年度実施し、今年度も原油価格は依然として高いので、昨年度と同じ内容で実施していく予定です。誰もが利用する家庭灯油等の燃料費に対する生活応援事業を実施しています。皆さんからの様々な提案や要望を元にして、すべての町民が住んでいて

良かったと、幸せを感じる事ができる町づくりに努めていきたいと考えています。

第11番(井上亜純さん)



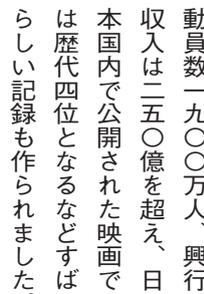
観光客が増えるように、新海監督とのコラボレーション活動をさらにすすめてらどうかと考えます。小海駅などでお菓子やポスター等のグッズ販売、イベントを開催する等です。新海監督の了承を得なければ出来ない事ですが、『君の名は。』などに出てきたキャラクターのクッキーの考案、キーホルダー等もあると良いなと思います。また、新海監督の映画が気軽に見られる様なブースを設けるなど、小海町を活性化するための企画としてどうでしょうか。

○町長

新海誠監督は小海町土村

出身、小海小学校を卒業した皆さんの大先輩です。二〇一六年に公開された新海監督による長編アニメーション映画「君の名は。」が大ヒットしました。映画館動員数一九〇〇万人、興行収入は二五〇億を超え、日本国内で公開された映画では歴代四位となるなど素晴らしい記録も作られました。

○産業建設課長



新海監督は東京の「株コミックス・ウエーブ・フィルム」というアニメ製作会社に所属しています。監督が所属している会社の了承を得なければいろいろなことができません。町では、会社の了承を得て、新海監督の作品にちなんだ、ポストカードやクリアファイルなどいろいろなグッズ販売を予定しています。今後、アルルや町内のお店でも監督のグッズ販売はできるので、会社に相談しながら行っていきます。小海町という名前を日本中、世界中に発信していただいている新海監督を応援している姿を

外に発信することが大事だと思います。新海監督は小海にとって必要な人であり小海の宝です。今後とも皆さんと町民全員で一緒に応援していきましょう。

○第12番(井出仁風君)



町にスポーツ施設、レジャー施設の増設についての提案です。自然を生かした大きくて楽しいキャンプ場が出来ると良いなと思います。また、小さな子ども達が遊べるような浅い池や噴水のある公園、簡単な遊具などがあり、雨天でも使える室内遊技場などがあると良いなと思います。

○町長

観光客など交流人口を増やすことは町の活性化に大きく関係する重要なことです。松原湖高原一番

主要な観光地として、観光客にPRしています。「松

原湖」はもちろん、年間約十七万人が訪れる「八峰の湯」やスキーやゴルフができる「小海リエックス」。小海リエックスには屋内と屋外対応のテニスコートもあり、ホテルの中にはプールもあります。町の予算は教育や福祉、道路などいろいろな分野に予算を分けるため、全ての要望には応えることができません。松原湖高原に大きなオートキャンプ場があります。キャンプ場の中まで車で入ることができ、車を横に駐車してキャンプが出来るので非常に人気があります。現在、松原湖畔に約二〇〇台駐車できる町営の駐車場を整備しています。この場所を来年からオートキャンプ場としても利用してもらい、キャンプの皆さんに大自然が残っている松原湖を散策したり釣りも楽しめるようにできたらと思います。

○第13番(由井胡桃美さん)



も大変必要なことと考えています。現在町で行われている健康福祉まつり、文化祭等を活用して多くの方が交流できるようにしていきたいと考えます。

○子育て支援課長

私は小海町の高齢者との交流について質問させて頂きます。小海小学校では、高齢者施設との交流会を行っています。小海小学校では、高年齢者施設との交流会を行っています。小海小学校では、高年齢者施設との交流会を行っています。小海小学校では、高年齢者施設との交流会を行っています。

また、保育園などの小さい子や中学高校の方々と、どのような交流をしているのでしょうか。そして、今後の小海町の展望についても教えてください。

○やすらぎ園所長

町にありますやすらぎ園、なごみ等の福祉施設では、小海小学校をはじめ、小海保育所、小海中学校の皆さんが施設を訪問し、利用している高齢者の皆さんと一緒に工作やゲーム、お話をしながら交流を深めています。地域全体で交流を深めることは人口の減や家族の少人数化が進む中、町にとって

○第14番(篠原百々香さん)



私の提案は、街灯設備の増設についてです。夕暮れ時や夜になった時、暗いと感じることがあります。夜ひとり歩くのは交通安全の面でも防犯の面でも不安になることがあります。私のような高学年でも感じるのですから、もっと小さな小学生や保育園児、高齢者の方なども不安に感じることがあるのではないのでしょうか。安心して歩けるように街灯の増設をお願いします。

○町民課長

事件や犯罪を未然に防ぐために、夕暮れ時や夜に道路を明るくすると、道は、有効な手段の一つだと思えます。現在、町の中には防犯のための街灯が七三五基設置されています。設置されている場所は広い主要な道路を中心に設置され

ており、細い道路には十分に設置されているとは言えないかもしれませんが、ご要望をいただいたように、町民の皆さんが、より安全で安心して暮らせるために、

○第15番(遠藤大志君)



小海駅二階の有効活用について質問があります。ほとんどの提案は、お土産コーナーを作ったかどうかというものです。電車の待ち時間等に気軽に立ち寄れるお土産コーナーや、小さい子が遊べる場所などあれば楽しいと思えますがいかがでしょうか。

○産業建設課長

一昨年から、商店街の有志の皆さんなどが中心となり、「エキウエ」という名

○第16番(中嶋大地君)



前で、町を元気にするため何にかしようとする人たちの会議や高校生などの勉強の場所をつくりました。現在はボランティアの方が午後から夜までの間いて、使用できるようになっています。町の皆さんがもっと気軽に「エキウエ」を会議や勉強などで利用できるよう、工夫していきたいと思えます。

害獣、害鳥被害について

質問します。多くの家の畑では、鹿による被害がひどく、一生懸命育てた作物が食い荒らされて困っています。小海町全体では、どのくらいの被害があるのでしょうか。そして、それに対してどのような対策を行っているか教えてください。

○産業建設課長

小海町では二ホンジカによる農作物被害が発生して

おり、平成二十九年度の被害面積等はハクサイ、ブロッコリーを中心に十五a、三十万円ほどの被害が発生しています。これは出荷用野菜の被害ですので、家庭用菜園等の被害は他にあるものと思われまます。

被害を減らすためには二ホンジカを駆除し、減らさねばなりません。町では狩猟免許を持つ住民の皆さんにお願いし、銃、ワナを使って二ホンジカを駆除しています。そしてその数は二十九年度三九三頭、二十八年度六五七頭、二十七年八五四頭であり、着実に二ホンジカの数を減らしつつあります。また町ではワイヤーメッシュと呼ばれる鉄製の柵の設置や、アニメルネットと呼ばれる緑色のネット、電気の柵の設置に対し補助金を出しています。補助金を出すと同時にアニメルネットの正しい設置の方法をアドバイスするなど、二ホンジカの被害を抑えるよう、努力していきたいと思えます。

平成30年度 地区懇談会の報告

平成30年度地区懇談会を分館単位11箇所で開催し、町民皆様から136件のご意見等がいただきました。ご協力ありがとうございました。懇談会の概要を報告します。

期日	地区	参加者	期日	地区	参加者
10/2	稲子・芦平	12名	10/23	本村・中村・大州	8名
10/5	松原・八那池	11名	11/2	東馬流・本間川	19名
10/10	鑑掛	14名	11/6	大畑・芦谷・箕輪・小海原	13名
10/11	馬流・杉尾	17名	11/14	宿渡・笠原・卒道	16名
10/12	本間・宮下・溝の原・五箇	19名	11/27	親沢・川平	18名
10/22	土村	21名	参加者計		168名

主な質問、意見、提案、要望とそれらに関する対応

1. 総務課関係 [39件]

◇空家対策について

・空家は、現在184件あり、危険なものは14件、内2件は倒壊の恐れがある。空家は個人のもので、権利関係が難しく簡単には壊せないのが現状です。空家の解体については補助金を出しているので活用してもらいたい。防犯面も含め空家等対策協議会で随時検討してまいります。

◇チャレンジ支援事業について

・町内に事務所及び活動場所を有する者等（特定非営利活動法人、公民館登録グループ、ボランティアグループ、直売所登録グループ、区、新規起業者等をいう。）が対象。新たな取組みを応援する補助事業で1団体最長で3年間、通算100万円まで補助を受けられます。

2. 町民課関係 [14件]

◇防災マップについて

・防災マップの作成については、町民が地域の具体的な危険箇所を把握し、実態に合った避難ができるよう、町の職員が一体となって作成してまいります。

◇町営住宅について

・現在ある町営住宅はほぼ満杯です。古い住宅は改築、新築等できるか検討し、危険なものから解体していき、今後ニーズを見ながら計画性を持って対応してまいります。

3. 産業建設課関係 [80件]

◇道路、水路の改修のほか中部横断自動車道について

・各地区からの要望箇所などは緊急性を判断して順次進めております。また中部横断自動車道関係につきまして、完成時期の目途は経っていませんが、大切なことは住民のみなさんが高速道路は必要だという声を上げる事が開通時期を早めると思います。引き続き早期事業化に向け推進してまいります。

4. 教育委員会 [3件]

◇町の文化財について

・町内の文化財に関してご意見をいただきました。歴史あるものは町の指定文化財の指定を受け、所有者と協議の上、保全・修復等の検討を行なってまいります。

町税等納期のお知らせ 〈平成31年1月～2月の納期は下記のとおりです〉

口座振替日	国民健康保険税	介護保険料	後期高齢者医療保険料
1月28日(月)	7期	7期	7期
2月26日(火)	8期	8期	8期

町税等の口座振替をご利用の方は納付月の26日が振替日となります。

前日までに残高の確認をお願いいたします。

※26日が土・日・祝日の場合は翌平日に振替えます。

窓口納付の方につきましては、**納期限が各納付月の月末**となります。

窓口納付の方は、便利な口座振替納付のご利用をおすすめします。

納税が遅れますと督促状が送られ督促手数料が発生しますので、必ず納期限内に納税をお願いいたします。

町政ご意見箱 ご意見一覧 10月分

町 民 課	ご意見	ペットボトルの蓋は簡単に取れますが、蓋の下のプラスチックは取りにくいです。取りやすい方法を教えてください。
	回答	キャップを取りはずした際に容器に残るプラスチック部分は、取りはずさなくとも回収ができます。
	ご意見	電気、ガス、水道などはメーターが見える場所にありますが、下水のメーターはないような気がする。どこにメーターがあるか分かりません。
	回答	公共下水道のメーターはありませんが、上水道の使用量に応じて下水使用料を算出しています。下水に流さなくても水道を使用した分は下水道料金となります。

事業主、事業所を経営されている皆様へ**平成31・32年度入札参加資格審査申請についてのお知らせ**

小海町が発注する建設工事等に係る測量、調査、設計及び工事監理の業務の委託契約についての競争入札に参加を希望する方、また小海町が発注する物品の製造の請負及び購入等について、競争入札参加資格の取得を希望する方は、申請書と必要とされる書類を作成し役場総務課総務係へ提出してください。

※申請書は、町のホームページの行政情報に掲載されていますのでご利用ください。

※提出の際には、A4ファイルに書類をまとめて提出してください。

〈受付期間〉平成31年2月1日～2月28日（土・日曜日、祝祭日を除く）

〈受付時間〉午前8時30分～午後5時15分

〈有効期間〉今回付与する入札参加資格の有効期間は、原則として平成31・32年度の2年間（平成31年4月1日～平成33年3月31日まで）となります。

〈提出方法〉郵送または直接、役場 総務課 総務係まで提出してください。

〈お問い合わせ・提出先〉小海町役場 総務課総務係

〒384-1192 小海町大字豊里57-1 TEL 0267-92-2525

佐久税務署からのお知らせ

平成30年分の確定申告から、下記のとおり変更となりますので、ご確認ください。

①所得税配偶者控除の改正

改正前は、納税者本人の収入要件はありませんでしたが、改正後は下図のとおり、納税者本人の収入額により控除額が減少します。なお、配偶者の収入要件の103万円（所得で38万円）は変わりません。

	納税者本人の収入（所得）		
	1,120万円以下 (900万円以下)	1,120万円を超え1,170万円以下 (900万円を超え950万円以下)	1,170万円を超え1,220万円以下 (950万円を超え1,000万円以下)
配偶者控除額	38万円	26万円	13万円
老人配偶者控除額	48万円	32万円	16万円

※収入が1,220万円（所得で1,000万円）を超える方は、配偶者控除の適用はありません。

②所得税配偶者特別控除の改正

改正前は、配偶者の収入要件が141万円（所得で76万円）未満まででしたが、改正後は、配偶者の収入要件が201万円（所得で123万円）以下まで引き上げられました。ただし、下図のとおり、納税者本人の収入額により控除額が減少します。

配偶者の給与収入 (合計所得)	納税者本人の収入（所得）		
	1,120万円以下 (900万円以下)	1,120万円を超え1,170万円以下 (900万円を超え950万円以下)	1,170万円を超え1,220万円以下 (950万円を超え1,000万円以下)
150万円以下（85万円以下）	38万円	26万円	13万円
155万円以下（90万円以下）	36万円	24万円	12万円
160万円以下（95万円以下）	31万円	21万円	11万円
167万円以下（100万円以下）	26万円	18万円	9万円
175万円以下（105万円以下）	21万円	14万円	7万円
183万円以下（110万円以下）	16万円	11万円	6万円
190万円以下（115万円以下）	11万円	8万円	4万円
197万円以下（120万円以下）	6万円	4万円	2万円
201万円以下（123万円以下）	3万円	2万円	1万円

※収入が1,220万円（所得で1,000万円）を超える方は、配偶者特別控除の適用はありません。

③税務署からの申告関連の送付物について

平成30年分の申告からは、前年に商工会等で申告書作成をされた方につきましても、『プレプリント申告用紙』ではなく、『確定申告のお知らせはがき』若しくは『確定申告のお知らせ通知書』が届きます。内容は予定納税額や納付口座登録有無の確認等、確定申告に必要な情報が記載されておりますので、市町村や商工会等の申告会場において申告相談される方は必ずお持ちください。

各お知らせの内容についてのお問い合わせは、佐久税務署までお願いいたします。

佐久税務署 個人課税第一部門 0267-67-3462

がん検診(子宮総合検診、乳房検診)の受診はお済みですか?

今年度対象者の方には、4月に役場より受診券をお送りしております。この受診券を下記医療機関で使用すると、無料で検診を受けることができます。無料期間は平成31年3月31日までとなっております。お早めに受診してください。

●女性検診対象者

(子宮)

20歳(平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれ)

25歳(平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれ)

55歳(昭和37年4月2日～昭和38年4月1日生まれ)

60歳(昭和32年4月2日～昭和33年4月1日生まれ)

(乳房マンモグラフィ)

40歳(昭和52年4月2日～昭和53年4月1日生まれ)

●検診料金：無料

●申込み方法：下記医療機関へ電話にてご予約ください。



医療機関名	電話番号	予約受付時間	子宮	乳房
斎藤産婦人科医院	0267-62-0823	平日 午前9時～11時30分、午後3時～5時30分 (水曜日、第1.3.5土曜日 午前9時～11時30分)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
いまいレディースクリニック	0267-66-7050	平日 午前9時～正午、午後3時～6時 (木曜日、土曜日 午前9時～正午)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
浅間総合病院	0267-67-6477	平日 午前9時～正午、午後2時～午後4時30分	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
増田医院	0267-66-0303	月火水金 午前9時～12時30分、午後3時～5時30分 木土 午前9時～12時30分	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>

※受診券を無くされた方は、役場町民課(92-2525)までご連絡ください。

無料で受けられる歯周病検診をご存知ですか?

お口の健康は、全身の病気や生活習慣との深い関連があります。年齢を重ねても、歯・お口の健康を保つために、定期的な健診や毎日のお手入れがとても大切です。

今年度より、歯周病検診事業が始まりました。下記の年齢に該当する方は、検診を無料で受けることができます。お手元の受診券をお持ちの上、ぜひこの機会に検診を受けましょう。

●検診対象者：今年度に40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳になる者

●検診料金：無料

●申込方法：右記歯科医院へ電話にてご予約ください。

※該当の方へは6月に受診券をお送りしております。無くされた方は、役場町民課(92-2525)までご連絡ください。

検診実施機関	電話番号
にいつ歯科医院	92 - 2034
羽毛田歯科医院	92 - 2208
渡辺歯科医院	92 - 2195

国民年金保険料はクレジットカード納付もご利用できます

メリット①・・・便利！

金融機関やコンビニ等へ支払いに行く時間と手間が省けます。また、クレジット会社が立替納付を行うため、納め忘れがありません。

メリット②・・・簡単！

「国民年金保険料クレジットカード納付申出書」に必要事項をご記入いただき、年金事務所へ郵送するだけで手続きできます。

メリット③・・・お得！

お得な前納割引納付もあります。また、クレジットカード会社によってはポイントが付与されます。是非、クレジットカード納付をご検討ください。

「申込み・お問い合わせ」小海町役場社会福祉係 TEL 0267-92-2525
小諸年金事務所 TEL 0267-22-1482

第35回 小海町健康福祉まつり開催

第35回小海町健康福祉まつりが、10月28日(日)に盛大に開催されました。今回は会場を小海町役場に移し、第11回小海分院ふれ愛秋祭りとの同時開催となりました。当日は晴天に恵まれ、両お祭り合わせて約1,300名の皆様にご来場いただきました。多数のイベントや各団体のブースが出展され、お子さんからお年寄りまでの全世代の方が、健康と福祉について楽しみながらふれあう良い機会になったと思います。初登場した「しあわ戦隊K O U M I マン」ショーも、子どもたちに大盛況でした。社協の物産展も大変にぎやかに行なわれていました。運営に携わっていただいた保健推進委員の方を始め、各参加団体及び小海分院の皆様、ご協力ありがとうございました。



地区防災計画・マップ

災害が発生する前に、必ず避難情報が発表されるとは限らず、その一方で災害が発生する前には、予兆現象が確認されることが少なくありません。「地域で発生している状況」に地域住民の皆さんで判断して早期避難することが求められます。

また災害から生命や財産を守るためには、「自分たちの地区は自分たちで守る」という心構えが重要で、日頃からいざという時のために準備をしておくことが必要です。防災について話し合い、どこが危険箇所なのか、避難経路や避難場所について情報共有することが重要です。

そこで、町では地区の実情に沿った、地区主導の「地区防災計画・マップ」の策定を推進しています。作成は地区区民の皆さんと過去に災害が発生した場所や予兆現象、自主避難ルールなどを話し合い、防災マップを作成するものです。作成にあたり、地区だけではなく、町・建設事務所でも計画の作成を全面的に協力します。

災害による犠牲者を地域から出さないために、作成にご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先は 役場町民課 生活環境係

中部横断自動車道(長野県区間1kmルート帯幅)住民説明会が開催されました

11月15日の午後6時から役場2階大会議室において、小海町・佐久穂町の町民及び関係者を対象に開催されました。当日は、約170名の方が参加され、国土交通省長野国道事務所と長野県の担当者からの説明がありました。参加者から早期実現を望む声が多く聞かれました。引き続き国、県と協力して、町としても早期実現を目指していきます。



直売所で根菜祭りが開催されました

10月10日(土)小海町農産物加工直売所(プチマルシェこうみ)において、根菜祭りが開催されました。今回、新たに店頭に並び始めました福岡県宗像市(むなかたし)の海産物や、小海産の新そばを使った手打ちそばなどをお目当てに、町内外から300人ものお客様にご来場いただきました。誠にありがとうございました。また、定番となりました加工グループのおやきやお饅頭、惣菜等の販売、ポップコーン、わたあめ、豚汁のふるまいも行われ大盛況の一日となりました。



指定管理移行後もより多くの方にお越しいただけるよう、新聞折込みなどを利用し広告宣伝に努めていきたいと思っております。これから冬の時期を迎えますが、漬物などの加工品を取り揃え、豊富な品をご用意してお待ちしておりますので、大勢の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

小海町の風物詩! 松原湖でワカサギを釣ろう!

水のきれいな松原湖のワカサギは最高においしいですよ。

松原湖では全国的にも貴重なワカサギの穴釣りを楽しめます。凍えるような寒さの中でワカサギを釣った思い出のある方も多いのではないのでしょうか。

最近では穴釣り用のテントもあり、寒さを気にせず釣りを楽しむことができます。また、テントや釣り道具、ドリル、ストーブなどは全て湖畔の旅館でレンタルすることができ、釣ったワカサギもレンタルした旅館で天ぷらにしてもらえます。

小海町の冬の風物詩を、友達を誘って楽しんでみませんか?

(レンタル取り扱い店) リゾートイン立花屋、ファミリーロッジ宮本屋、釣り宿佐久屋、湖畔館

観光課 0267-92-2511 観光案内所 0267-93-2005



小海町交通安全協会 フォトニュース

小海町交通安全協会では、10月28日(日)の小海町健康福祉まつりで、事故無く来場者の皆様が駐車出来る様駐車場の誘導・案内を行ないました。皆様のおかげで、大きな事故等も無く無事に健康福祉まつりを終えることが出来ました。

また、年末の交通安全運動に合わせ、12月14日(金)に町内飲食店のパトロールを行ないました。年末年始は忘年会・新年会など飲酒の機会が多くなります。飲酒運転は、判断力の低下を招き、死亡事故率が8.7倍にもなっています。また、他人に傷害を与える他にも厳しい処分が課され社会的制裁により、本人だけでなく家族の人生も台無しにしてしまいます。

お酒を飲んだら、決して車の運転をしないように、させないようにしましょう。



「第30回氷上トライアスロン小海大会 記念大会」

参加者・運営委員募集

小海町の冬の風物詩となっております、氷上トライアスロン大会について、町民の皆様をはじめ関係者のご協力により第30回記念大会として開催します。選手エントリーをお待ちしています。

また、同時に、大会のお手伝いをしていただく運営委員も募集しておりますので、お手伝いいただける方は、役場 産業建設課 観光係 電話92-2525までご連絡ください。

記

期 日 平成31年2月2日(土)～3日(日)

競技種目 スラロームスキー 3km
ランニング 16km
スケート 10km (400M×25周)

※一般部門 同一選手が3種目競技を連続して行なう。

※リレー部門 (2名又は3名で競技を行なう)

制限時間 4時間

会 場 小海リエックス・スキーバレー・松原湖高原スケートセンター及び周辺道路

定 員 200名 (リレー25組含む)

参加費 1名 11,000円
(レセプション費・傷害保険料等含む)

高校生以下 5,000円 (レセプション費・傷害保険料等含む)

リレー部門 1チーム21,000円 (レセプション費・傷害保険料等含む)

申込締切 平成31年1月11日(金)
(定員になり次第締め切り)

申込方法 参加申込書を下記に送り、参加料を指定口座へ振り込む。現金書留も可。

申 込 先 氷上トライアスロン小海大会事務局
〒384-1192 長野県南佐久郡小海町大字豊里57-1 小海町役場産業建設課観光係
Tel 0267-92-2525 Fax 0267-92-4335

振 込 先 ゆうちょ銀行 口座番号 00590-1-71832
口座名義 氷上トライアスロン小海大会

町民の皆様のご参加とご協力をお待ちしております。

フォトピックス

中学生の「税についての作文」 小海町長賞受賞

11月15日に佐久グランドホテルにおいて、中学生の「税についての作文」の表彰が行なわれ、小海中学校2学年の松本結愛さんが受賞されました。



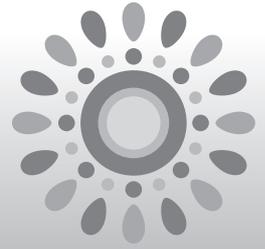
民生児童委員交流会
11月16日(金)に、保育園児と民生児童委員の交流会でお餅つきを行いました。園児のヨイシヨ・ヨイシヨの掛け声に、民生児童委員の作業もはかどり、最後は年長児の皆さんも、杵を振るいおいしいお餅ができました。

東京近郊小海町人会総会

平成30年11月11日、東京都池袋サンシャインにおいて開催されました。(総勢約60名)



くらしの情報



小海町インフォメーション

**チャイルドシート
購入費補助制度を
「ご利用ください」**

六歳未満の子どもはチャイルドシートの使用が義務づけられており、町では、チャイルドシートの購入費に対して補助しています。補助金の内容は、一人に対して上限一万円（購入費が一万円未満の場合は、購入費実費負担とし、千円未満は切捨てとします）。

対象は、保護者及び子どもが共に小海町に住所があり、満六歳未満の子どものいる保護者です。申請には、役場にありませぬ申請書と購入した際の領収書、チャイルドシートの保証書または取扱説明書の写しをご提出ください。

詳しくは、町民課生活環境係までお問い合わせください。（電話：九二二二五二五）

**お子さまの教育資金
を「国の教育ローン」
（日本政策金融公庫）
がサポート！**

「国の教育ローン」は、高校、短大、大学、専修学校、各種学校や外国の高校、

大学等に入学・在学するお子さまをお持ちのご家庭を対象とした公的な融資制度です。

- ▼ご融資額 お子さま一人につき三五〇万円以内
- ▼金利 年一・七六%
- ※母子家庭の方などは年一・三六%（平成二十九年十一月十日現在）
- ▼返済期間 十五年以内
- ※母子家庭の方などは十八年以内

▼HP 「国の教育ローン」で検索
▼お問い合わせ 教育ローンコールセンター 〇五七〇〇〇八六五六（ナビダイヤル）または（〇三）五三二一八六五六

**庭木の剪定と維持
管理講習参加者募集**

日時 二月二十三日（土）
午前九時三十分～十二時

会場 佐久市取出町 野沢会館

参加費 無料
対象 五十五歳以上であればどなたでも参加できます。初心者も歓迎です。

持ち物 筆記用具
定員 四十人（先着）

申込方法 電話でお申し込みください。
申込先 佐久シルバー人材センター 電話：六二一七七八六
または小海町支所 電話：九二二三四二〇

**長野労働局からの
お知らせ**

家族の介護を行う、労働者の仕事と生活との両立を支援するための介護休業制度をご存知ですか。

就業規則になくても取得できます。

・介護休業は、対象家族一人につき、通算九十三日、三回まで取得可能
・介護のための所定外・時間外労働及び深夜業の制限並びに所定労働時間短縮等の制度があり、事業主は労働者から求められた場合、これらの支援措置を講ずる必要があります。

・通院、デイケアなどへの送り迎えに利用できる介護休暇も年間五日間取れます。

詳しくは、長野労働局雇用環境・均等室まで（電話：〇二六一二二七〇二二五）

戸籍の窓

・お誕生
おめでとうございます。

七月
油井 蓮実 正和 馬流本町
中沢 海純 俊幸 土村栄町

八月
渡辺 煌貴 泰貴 土村栄町
池本 伊織 亮 馬流元町

九月
久保 慶典 典利 土村旭町
黒澤 直弘 健太 芦谷
岩崎 滯 祐一郎 八那池

・ご結婚
おめでとうございます。

七月
黒澤 高幸 本村
水間安貴歩 佐久穂町
篠原 庸平 佐久穂町
木下 沙保 土村南町
宮坂 竜一 上田市
宮澤 沙希 八那池
高見澤聡一 佐久市
有坂 舞 二タ小池

八月
森 理 宿渡
渡邊 晃子 宿渡
篠原 和輝 本間川
吉澤 仁美 南牧村
岩崎祐一郎 神奈川県
井出 深雪 八那池

・ご逝去
お悼み申し上げます。

七月
菊原 由春 86歳 笠原
新井よ志子 88歳 土村栄町
山寄 俊則 86歳 大州
篠原 勝一 76歳 馬流元町

八月
依田 武夫 86歳 本村
山口 武城 92歳 本村
土橋富美子 92歳 芦谷

八月
油井 勝一 78歳 卒道
依田 津ぎ 95歳 土村南町
篠原としひ 94歳 馬流元町
高橋 静子 99歳 馬流高畷
関 和人 80歳 本間上
有坂 功 83歳 本村
菊池まつ子 95歳 稲子

九月
新津ゆう子 90歳 八那池
井出レイ子 73歳 親沢
新津 正明 74歳 土村栄町



子育て支援だより

子ども探検隊

次世代育成事業としてじろ倶楽部のみなさんにお世話になりながら、町の豊かな自然の中で『子ども探検隊』を行っています。



次回は…
2月9日(土) お楽しみに♪

1・2月の子育て支援教室

子育て支援センター事業

- ★おもちゃランド
 - ・ 1月31日(休) 10時～ 「豆まき」
 - ・ 2月21日(休) 10時～ 「こねこねあそび」
- ★パパ・ママ カンガルーひろば
 - ・ 1月17日(休) 10時～ 「まる得ママ会②」
 - ・ 2月7日(休) 10時～ 「クッキング②」
- ★はぐくみサロン
 - ・ 1月24日(休) 10時～ 「子どもの応急措置」
 - ・ 2月28日(休) 10時～ 「お口のお話」

児童館事業 ★子ども教室

- ・ 1月12日(出) 9時～ 「お茶教室」
- ・ 1月23日(休) 放課後～ 「お正月遊び」
- ・ 2月2日(出) 9時～ 「クッキング」
- ・ 2月13日(休) 放課後～ 「ゲーム遊び」
- ・ 2月27日(休) 放課後～ 「ソフトバレー」

次世代育成事業 ★子ども探検隊

- ・ 2月9日(出) 「雪あそび」
- ※詳細は後日配布のチラシをご覧ください。

結婚推進事業 ～婚活のすすめ～

- ◇白樺結婚相談 (小海町・佐久穂町・南相木村・北相木村)
- ・ 1月20日(日) 13時～16時 八千穂老人福祉センター相談室
 - ・ 2月17日(日) 13時～16時 八千穂老人福祉センター相談室

◇小海町結婚相談 ※ご本人でもご家族でも結構です。月～金曜日の8時30分～19時まで、小海なかよし児童館にて受け付けております。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ：小海なかよし児童館 92-2580

～理念～ 誰もが皆、自分らしく生きる為に、支え合う地域づくりを目指します。



やすらぎ園だより

No.166

〈編集・発行〉社会福祉法人 小海町社会福祉協議会 / 〒384-1103 長野県南佐久郡小海町大字豊里805番地 TEL. 92-4107(代) FAX. 92-2457

第35回 小海町健康福祉まつり

熊本復興支援物産展・茨城県大洗町友好都市協定物産展
フードドライブ・フリーマーケット・一円玉募金

ご協力ありがとうございました

熊本義援金	67,784円	フリーマーケット	16,410円
フードドライブ	166品	一円玉募金	20,283円

10月28日第35回小海町健康福祉まつりが開催されました。毎年2月に開催されていましたが、今年度は佐久総合病院小海分院開催のこうみふれあい秋祭りとJA小海支所生活祭との同時開催になり、会場も総合センターから役場駐車場及び庁舎内での開催となりました。当日はとても良い天気にも恵まれ、



秋の穏やかな一日大勢の参加者で賑わいました。

役場2階大会議室では熊本復興支援物産展と大洗町友好都市物産展の他、多くの団体のフリーマーケットが行われました。駐車場ではボランティア連絡協議会による、毎回おなじみの五平餅、フランクフルトをはじめ、おしるこ、飲み物など販売やそばの振る舞いがあり列ができるほどでした。

また、フードドライブでは多くの方にご協力いただき、166品寄付していただきました。これは、自立相談支援

機関 長野県・佐久市生活就労支援センター「まいさぼ佐久」を通じ、佐久地域の食料を必要としている方々に届けていただきました。これからもこの活動にご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

物産展の収益と、フリーマーケットでの寄付金の一部は義援金として日本赤十字社を通じ、被災地に送らせていただきました。また、一円玉募金とフリーマーケットの寄付金の一部は社協福祉資金として地域福祉のために使わせていただきます。

本年も多くの皆様にご協力いただきありがとうございました。皆さまの善意に感謝いたします。



ボランティア全国フォーラム軽井沢2018

約500名
参加!

今年の全国大会は11月3日・4日の2日間、軽井沢をメイン会場として行われました。小海町からは21名の方が参加され、全国のボランティアの皆さんと楽しく交流されました。

1日目は軽井沢の大賀ホールで、地元演奏家の皆さんによる演奏で開会しました。シンポジウムでは県内外で活動している団体の皆さんによるパネルディスカッションが行われました。

2日目は佐久平駅近辺の施設で11分科会が行われ、参加された皆さんにより、活発な意見交換が行われました。



素敵な大賀ホール
大変なにぎわい!

平成30年度 ご近所支え合い講座

『健康福祉の主役はあなた!』～小海を守る力をつけよう～

誰もが年を重ねても、住み慣れた地域で元気に暮らしたいものです。そこで今回は、リハビリや介護予防、地域支援の分野でご活躍の中村崇先生に自分も元気に、周りにも元気の輪が広がる楽しいお話をさせていただきます。大勢の方のご参加をお待ちしております。

日時 1月27日(日) 午後1時30分より (受付1時より)
場所 小海町総合センター
講師 一般社団法人 健康福祉広域支援協会
代表理事 中村 崇 氏

参加対象 小海町にお住まいの方
参加費 無料



◆参加申込み◆1月21日(月)までに小海町社会福祉協議会へ (電話 92-4107)



昨年、美術館では、四回の展覧展を開催しました。

岸田劉生の孫で桜の画家として知られる岸田夏子氏、美人画で一世を風靡した大正ロマンを代表する画家、竹久夢二氏、二年に渡り小海町で滞在制作を行った英国の画家、リチャード・ホーア氏、宿渡在住で、星座の画家として知られる谷本清光氏を紹介しました。また、教育普及活動にも力を入れ、小海中学校一年生を

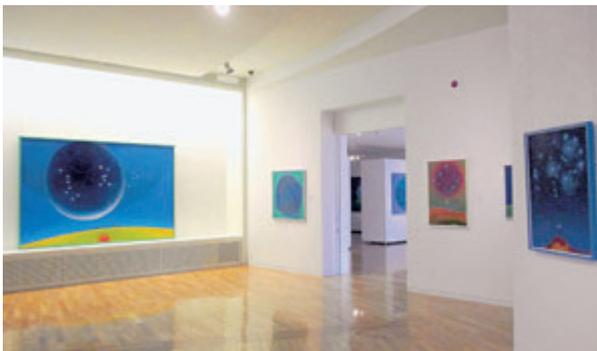


対象としたリチャード氏の授業（写真上）では音楽を聴いて受けたイメージを様々な線で表現しました。その後、美術館での対話による鑑賞授業、中学校での研究授業を行い、作品の理解を深めました。作家や研究者による講演も多数行い、谷本氏の作品解説（写真下）では、参加者の質問に応じながら、谷本氏が作品に込めた思いを語りました。本年も魅力的な展覧会を開催しますので、美術館には是非お越し下さい。

フォトニュース



第35回小海町健康福祉まつりが、10月28日(日)に開催され、約1,300名の方にご来場いただきました。しあわ戦隊KOUMIマンも初登場しました。



昨年開催された「谷本清光展」の様子です。平和の願いが込められた幅約3mの新作が発表されました。



①アルカリ媒染で黄色、鉄媒染で利休鼠色を染める。
②アルカリ水で煎じ出し、酸で中和して染色すると緑味のある色合いが得られるので、その液に浸染してアルミ媒染で黄緑色、鉄媒染で灰緑色を染め上げた。

小海の植物

染めごよみ (55)

文・写真／四反田 有弘

「草木染の会」主宰 森林インストラクター

秋の名残の菊を染める
菊 きく 別名：家菊 きく科
キク属
観賞植物として栽培される多

年草で、高さ1m前後。秋九月から十一月に咲き、茎の先で分枝し頭花をつける。頭花をつくる小花には筒状花（管状花）と舌状花があり、母子草は筒状花のみで花が出来ており、タンポポは舌状花のみで構成。ヒマワリは周囲を舌状花、中央を筒状花で構成する。古典的には、花が筒状花のみ又は周囲に舌状花を持つキク亜科と舌状花のみのタンポポ亜科に分類されていたが、今では十二亜科に分類され、その中でも下記の四亜科で九十九%の種を持ちます。世界では九五〇属、二万三千種あり、日本では一六七属、三七〇種あるとされます。キク科の植物は私達にとって大変に有用な染料で

す、これらの分類を把握しながら多くのキク科植物に染めるという挑戦をしていきたいと思いをします。
キク科
キク亜科：キク属 ヨモギ属 シュンギク属 シオン属 コスモス属 ダリア属 ヒヨドリバナ属 ハハコグサ属 ヒヤクニチ草属 ヒマワリ属 センダングサ属 ブタクサ属 キリンソウ属 ヨメナ属 フジバカマ属 ベニバナ属 ムカシヨモギ属 等
タンポポ亜科：タンポポ属 アキノゲシ属 ノゲシ属 コウソウリナ属 オニタビラコ属 ハゴロモギク属 等
アザミ亜科：アザミ属 ヤグル

マギク属 ヒコタイ属 トウヒレン属
ムティシア亜科：ガベラ属 ムティシア属
菊はもともとは外来種であり、薬草や観賞用植物として中国から伝来し不老長寿や繁栄をもたらすとされて、平安時代に用いられ始めて宮中では菊の節句として呼ばれる重陽の節句（旧暦の九月九日）が明治時代まで行われた。現在では皇室園遊会が「観菊御宴」として行われている。菊の紋章は後鳥羽天皇が愛し、身の回りのものに施したことから天皇、皇室の紋となったという。染色としては花の散った後の茎葉を根元から刈り取って、細かく刻み水に入れて熱し、沸騰後20分熱煎して染液をとる。これを2度繰り返し濃い茶色の染液にする。